



Vol. 158

2023年4月20日発行
(令和5年)

議会だより

しらたか

3月定例会
山形県白鷹町議会



友だち いっぱいつくろうね

鮎貝小学校入学式

全議案を全会一致で可決 令和5年度の主な事業 . . .

2 p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

令和5年度予算審議

4 p

ここが聞きたい 本会議一般質問で町政を問う

12 p

議会広報アンケートから

20 p



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

町民の声を聴き、 確実な実施を求む

《地域力》 書かない窓口実現へ

- ◎ 町民課では新たにタブレットを利用した「書かない窓口」が実現します。 146万6千円
- ◎ 地域防災力強化のため「地域防災マネージャー」が配置されます。 347万7千円
- ◎ 地域の課題解決に向け、地域の要望に応じて、「集落支援員」を配置します。 1335万円
- ◎ 新たに[※]インターン制を導入し、地域おこし協力隊を募集します。 4625万8千円



町民課窓口で書かずに
申請します。

自身でタブレット入力し
申請もできます。



※ 応募者のすそ野を広げるとともにミスマッチを防ぐため、一定期間業務を経験する。

《定住化》 若者の町外流出抑制へ

- ◎ 子育て支援住宅と若者定住促進住宅を建設するための実施設計（実際に施工するための設計）などを行います。 3485万5千円
- ◎ 危険な空き家を減らすため、所有者が行う解体費用への補助金を増やします。 580万円
- ◎ 住まい、働く場、子育て・教育環境の情報など白鷹町で生活する具体的なイメージを SNS で発信していきます。 150万円



これまでに
16棟整備
された子育て
支援住宅

Voice
議員の声

若者の流出を抑え、
移住者の選択肢に
なるよう入居要件
の検討も重要です



若者定住促進住宅イメージ

全議案を全会一致で可決

3月定例会は3月7日～17日まで開かれました。初日の施政方針で佐藤誠七町長は「町の最重要課題である人口減少対策をはじめ、真に町民にとって必要な新たな取り組みや、未来につながる施策を展開していく」と述べました。令和5年度当初予算を含む議案42件などを審議し、全議案を全会一致で可決しました。



町長施政
方針全文

令和5年度の主な事業

《人づくり》 伴走型の相談支援へ

VOICE
議員の声

- ◎ 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行います。 646万2千円
- ◎ 豪雨時の排水が課題の、白鷹中学校グラウンド整備に向けた検討を進めます。 500万円
- ◎ 多様な働き方を求める人と人手不足に悩む企業などをつなぐ組合を作ります。 1000万円
- ◎ 修学旅行費の支援など荒砥高校への支援を増やします。 1135万3千円

孤立感・不安感を抱かず
安心の子育てができる取
り組みが少子化対策につ
ながることを望みます



《産業・経済》 航空レーザー測量実施へ

- ◎ 航空レーザー測量を行うことで、森林の境界明確化や活用につなげます。 4920万4千円
- ◎ ふるさと応援事業(ふるさと納税)を民間委託し寄付額の増加を目指します。 4712万3千円
- ◎ 町外からの新規就農者を定着させるため、機械購入費や生活費などを補助します。 252万円
- ◎ 企業の立地と雇用を増やすため、設備投資に対する支援を行います。 3000万円



航空レーザー測量のイメージ

令和5年度 当初予算

一般会計87億1000万円

総額145億9869万円 (前年度比2.46%増)

一般会計は前年度に比べて
3.08%増加しました

新年度当初予算額			
会計項目	予算額		
一般会計	87億1000万円		
特別会計	十王財産区	76万円	
	下水道	4億4597万円	
	国民健康保険	15億2015万円	
	農業集落排水	1億6131万円	
	介護保険	17億2163万円	
	後期高齢者医療	1億7184万円	
事業会計	水道	収益的支出	3億 62万円
		資本的支出	2億 692万円
	病院	収益的支出	12億2384万円
		資本的支出	1億3566万円
合計	145億9869万円		

※万円未満は端数調整



台の沢の桜から葉山を望む

総括質疑 — 施政の方針を問う —

町政の推進体制

小口 尚司 議員

総合計画を進める職員体制

問 今後の職員体制をどう考えているか。

町長 年々事務事業が多種多様になっている。働き方改革を推進しながら、定員管理の見直しもしつつ人材の確保と育成を進めていく。

デジタル化に向けた人材育成と推進体制

問 行政のデジタル化に向けて、職員も含めた人材の確保と育成をどう進めるか。

町長 デジタル化により、町民の皆さんが便利になるように、また事務の効率化、高度化に向けて取り組んでいる。職員の能力向上とデジタル専門人材の活用、専門的企業への委

託などにより、デジタル化を推進していく。SDGsの視点を踏まえた※グリーン化の推進

問 グリーン化(GX)を意識した産業振興と人材育成をどう進めるか。

町長 行政事務のみならず企業活動においても欠かすことのできない視点となっている。森林に関する事業と連携させて、再生可能エネルギー推進事業、省エネルギー住宅の支援、資源活用などを行い、産業振興につなげていきたい。

※グリーン化

化石燃料をできるだけ使わず、再生可能エネルギーを利用していくための変革やその実現に向けた活動のこと。

災害の防止と担い手不足への対応

山田 仁 議員

問 豪雨災害の未然防止のため、最上川から掘り上げる予定の土砂をどのように使うのか。

町長 相当な量の土量が見込まれる。有効活用するため、国土交通省と情報交換しながら検討していきたい。

担い手不足への対応

問 各分野における担い手不足が課題となっている。外国人労働者も働きやすい環境をどう作っていくか。

町長 住居確保について町内企業の需要を把握しながら検討していきたい。また、国際交流協会と連携して交流を図っていきたい。



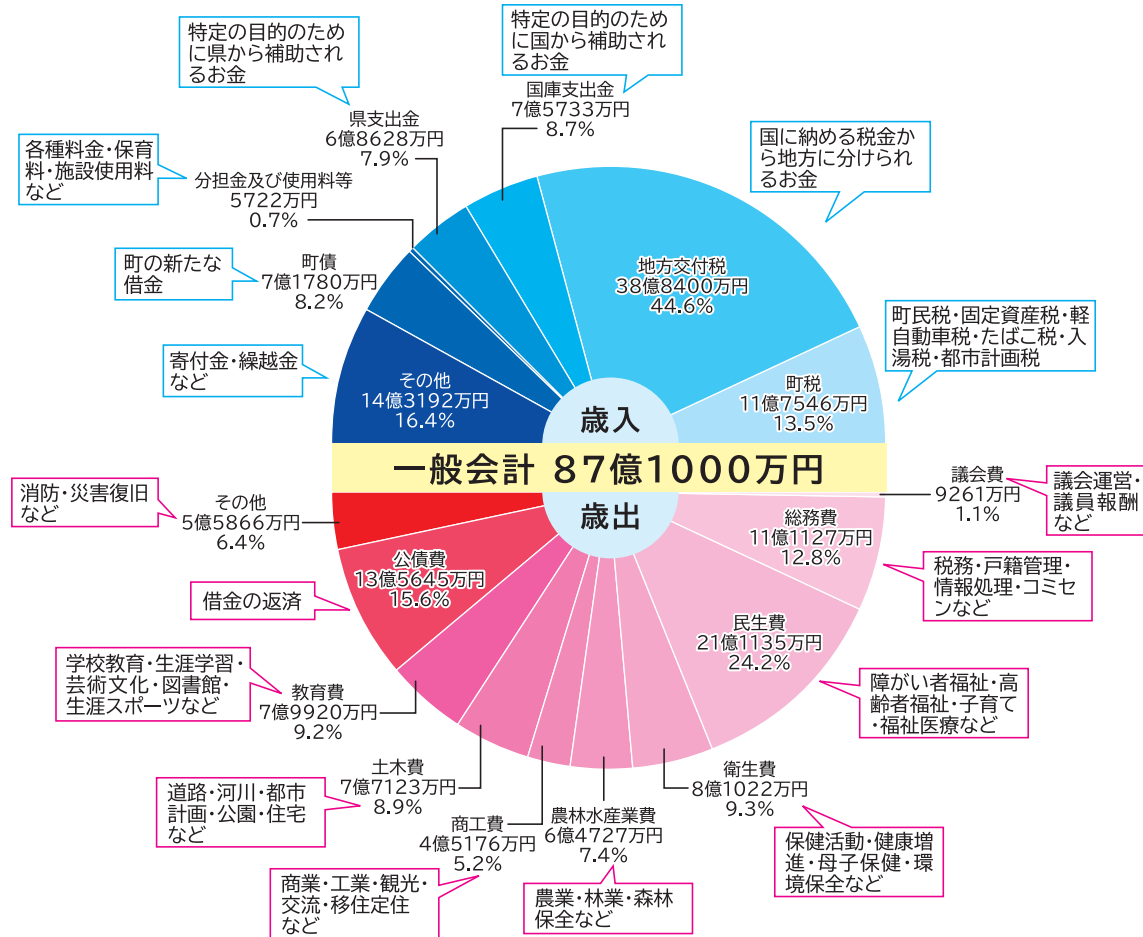
総括質疑の動画をご覧いただけます。

予算特別委員会質疑

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、六つの特別会計と二つの公営企業会計があります。

3月14日と15日の2日間にわたり、令和5年度当初予算について審査しました。



一般財源の確保

山口委員 物価高などの厳しい課題がある中、町税などの一般財源をどう確保するのか。

当局 効果的な支出により一般財源を圧縮し、人口減少対策、人への投資を行うことで人口減に歯止めをかけ、町税などを確保したい。

都市計画税の平等性

山口委員 都市計画税の平等性を確保すべきとの議論があるが、今後考えていくのか。

当局 税の本来の目的から見て課題がある。現在、行政経営改善委員会で議論を重ねてい

る。一定の方向が出た段階で報告する。

税の未納問題

遠藤委員 税の未納問題で、※不納欠損や時効という課題がある。どう対応するか。

当局 預金や生活状況を調査し、能力に応じて差押えなどの処分を行う。一方、生活困窮者には処分の停止など適切に対処し、時効が発生しないよう努める。

※不納欠損 何らかの理由で納めていたことができず、今後も納めていただけに見込みが立たないため「納めていただくことができない」と決定すること。

歳出 (町の支出)

総務費

デジタル化の推進

笹原委員 デジタル推進事業の内容は何か。また、スマートフォンを持つていない人への対応はどうするのか。

当局 希望する情報を町民個人のスマートフォンなどに提供したり問い合わせを受けたりする。

スマートフォンなどを持たない人も「書かない窓口」の実施などで、デジタル化の恩恵を受けられるようにする。

笹原委員 「書かない窓口」の具体的な手順

はどうなるか。町民課以外で発行する証明書なども対象とするのか。



地域人材ベースキャンプ設立

笹原委員 事業の具体的内容は何か。

当局 国の制度である「特定地域づくり事業協同組合」を設立し、職員を雇用し事業所に派遣する。

新しい働き方を求める人、移住希望者などの受け皿として将来的

な担い手、人材確保につなげる。

横山委員 運用開始時期はいつか。ニーズはあるか。

当局 お試しツアーで、働く方の確保など進めながら、令和5年度末までに立ち上げたい。ニーズに関して、町内事業者への説明会、アンケート調査、ヒアリングなど行った。主に農業や製造業などの業種を組み合わせることで、通年での仕事確保を見込む。

横山委員 都会と白鷹町など2拠点での働き方も想定しているか。

当局 本町に移住して仕事をしていただく。マルチワークではさまざまな働き方が可能であり、その中で対応できればと考えている。

集落支援員

笹原委員 人選と働き方はどうなるか。地域

の差は出ないか。

当局 地域の推薦により町で委嘱する。勤務体制は各地区にお任せする。

助言しながら、差が出ないよう進める。

丸川委員 導入した背景は何か。

当局 隊員としての実際の活動などがイメージしにくいという声があるためである。国の制度に基づいて、住所異動の必要がない2〜3週間において活動を体験していただくこと。ミスマッチを防ぐことにもつながるものと考えている。

金田委員 フラワー長井線100周年記念イベントとあるが、利用拡大に向けての事業内容は何か。

当局 当日のイベントのみならず、引き続きさまざまな面から利用拡大に向けた取り組みを継続していきたい。

横山委員 新規事業だが、その目的は何か。

当局 メンタルの不調により休暇、休職せざるを得ない職員が年間数名おり、その対策の一環である。庁舎外の専門相談窓口により、メンタルヘルス相談の対応を図る。



沿線には花の名所がいっぱい

民生費

障がい児ネットワーク事業の周知

竹田委員 令和4年度の事業内容は何か。

当局 育児に悩む家族が気軽に集える場の提供や療育支援、外部講師による勉強会を開催した。

竹田委員 この事業を知らない方もいる。周知の工夫をどうするか。

当局 委託先の町社会福祉協議会とも連携し、町報やホームページなどで広く周知していく。

竹田委員 令和5年度の事業内容と確保目標は。

当局 人材紹介会社からの紹介で雇用した際の紹介手数料と、要した経費の一部を補助するもの。3施設2名ずつの6名を想定している。

介護人材確保事業

竹田委員 令和5年度の事業内容と確保目標は。

当局 人材紹介会社からの紹介で雇用した際の紹介手数料と、要した経費の一部を補助するもの。3施設2名ずつの6名を想定している。

衛生費

健康寿命の延伸

【横山委員】 検診事業の拡充内容は何か。

【当局】 子宮頸がん・乳がん検診について、これまででは集団検診のみだったが、個別検診も受けられるよう拡充する。



環境対策を自分ごと

【笹原委員】 環境マイレージ事業の具体的な内容は何か。

【当局】 家庭でできる省エネルギーに関する取り組み事項を設け、町民と小学生を対象に実施する。ポイントに応じてエコグッズなどを贈る。

木材の炭素貯蔵効果

【丸川委員】 炭素貯蔵量表示板を作成することに併せ、木材が持つ炭素貯蔵効果の説明をどうするか。

【当局】 貯蔵されている二酸化炭素が、地球温暖化にとってどのような影響を及ぼしているかも表していきたい。

省エネ住宅支援

【横山委員】 省エネ住宅促進事業の対象とされる、高い省エネ基準とは何か。

【当局】 省エネ基準とは、断熱と住宅性能等級、一次エネルギー消費量等級により判断される。2030年度から断熱等の住宅性能等級の基準が5以上と予想されており、その内容を含む住宅への支援を考えている。

【横山委員】 町内事業者は工事などに対応できるか。

【当局】 商工会を通じて関係者から伺ったが、十分可能であるとの答えである。

農林水産業費

水路の長寿命化対策

【丸川委員】 西横田尻地区農業水路等長寿命化・防災減災事業について、具体的な場所と内容を問う。

【当局】 西横田尻地区内の、中の沢川から取水している「中の沢用水路」である。地元から要望をいただけており、270メートルほどをコンクリート水路とする計画で、10%の地元負担をいただくことで進めている。

【丸川委員】 今後の他地区の水路整備の方向性は。

【当局】 受益者負担が発生するので、まずは要望をいただきたい。そこで必要な工事を提案しながら、負担が可能な確認を取りながら進めていきたい。

土地改良区の運営

【金田委員】 電気料など管理経費が増加している。また、水田畑地化に関するところで、土地改良区の運営が厳しい現状をどう認識しているか。

【当局】 土地改良区を取り巻く影響については、国などの動向を注視しながら、情報を共有していきたい。賦課金の減少となり、施設を維持するため、賦課金の単価を上げざるを得ない状況と認識している。

水田畑地化の影響

【菅原委員】 水田の畑地化によって、中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能交付金の

減額など、どのような影響が考えられるか。

【当局】 現在は、水田の形状があれば交付されているが、今後動きがあるかもしれないので、注視していきたい。



深山の棚田

航空レーザー測量

【金田委員】 具体的な事業の効果は何か。

【当局】 集約化が可能となり、町内の緑の循環が進むと考えている。再造林の際には、適地

適木化ができる。また、地すべりの判読ができ、防災・災害復旧に活用できる。

【笹原委員】 航空レーザー測量の実施後、緑の循環システムが機能するまでの道筋はどうか。

【当局】 令和5年度に測量を実施したデータを基に、令和6、7年度に※筆界(ひっかい)案を作成し、境界明確化に取り組み。年間800ヘクタール、約12年で明確化を進めたいと考えている。

※筆界(ひっかい)
ある土地が登記されたときにその土地の範囲を区画するものとして定められた線。所有者同士の合意などによって変更することはできない。

商工費

ふるさと納税拡大へ

笹原委員 ふるさと応援事業の業務委託は、

どの範囲まで行うのか。

【当局】 事務の全てを委託する。サイトの管理、

返礼品の開拓と発送、

寄付者からの問い合わせの対応などである。



地域連携DMO

【横山委員】 現状と今後の見通しはどうか。

【当局】 地域連携DMOは、市町間の広域連携により誘客推進と交流

人口拡大などを行い、

地域経済の活性化を図ることを目的に設置されている。

事業全体の中で白鷹町内を会場とする企画

が少なく、町内集客を図るための新たな取り組みが必要である。

【横山委員】 令和6年度以降のDMO組織はどうなるか。

【当局】 国からの交付金は令和5年度までの事業予定であるが、関係

市町も含めた会議において、DMO組織の継続と自走に向けた検討を行っている。



5類移行後の観光事業

【丸川委員】 観光4シーン推進事業について、

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられること

によるイベント開催などの考え方はどうか。

【当局】 基本的な感染対策を行いながら、できるだけコロナ禍前の形で開催していきたい。

日本の紅をつくる町推進事業

【横山委員】 紅花栽培の担い手の高齢化が課題

という声を聞く。今後どのように進めるのか。

【当局】 生産量日本一にこだわって事業を推進し、栽培支援や栽培面積

拡大などを図るなか、

これまでは摘み手不足が一番の課題だった。

栽培に関わる方々が年を重ねるなか、個別に課題などをお聞きし、

関係者と課題を整理・協議し、今後何を行えばよいのかなど考えながら取り組みたい。



紅花畑の除草作業

土木費

維持修繕業務委託の背景

【丸川委員】 町道維持及び水路維持事業において、それぞれ新たに維持修繕業務が委託された背景は何か。

【当局】 それぞれの事業において、現在の人員

体制、保有機械、技術力では、災害緊急対応

や各地区要望対応に遅れが生じており、維持

整備の促進、災害リスクの低減などに迅速に対応するためである。



除雪担い手不足の解消

【丸川委員】 除雪担い手育成事業に至った経緯と事業内容は何か。

【当局】 除雪事業者の方

に行ったアンケートから、除雪オペレーター

不足が課題になった。

安定した除雪体制の確保、オペレーターの育成

を目的として、免許取得などへ5万円ずつ

6名の補助を想定している。



空き家対策事業が 拡充

竹田委員 空き家対策
予算拡充の内容は何か。

当局 解体補助に今年
度11件の申請があり、
その実績を踏まえて拡
充している。町内業者
を利用した場合は10万
円加算となる。

教育費

**スクールバス更新
今回は中型車で**

笹原委員 スクールバ
スの更新について、少
子化が進むなかで、小
型化は考えるのか。

ドライブレコーダー
は設置されるか。

当局 令和5年度は中
型車でないと対応でき
ない。今後の更新時に
は、小型化も検討する
必要があると考える。
ドライブレコーダー
を設置する。

進む中学校排水対策

山田委員 中学校排水
対策事業で具体化した
ものはあるのか。

教育長 令和5年度に
調査し、6年度に実施
計画を策定、7年度に
工事を予定している。

青少年国際交流事業

横山委員 事業の内容
と開催時期は。

当局 コロナ禍前と同
様の研修事業を考えて
いる。具体的にはオー
ストラリアを候補地に、
中学生8名、高校生4
名による現地学校への
交流訪問、ホームステ
イ、世界遺産見学など
を想定している。今後
の検討となるが、以前
と同様に11月上旬を予
定している。

横山委員 実施できな
い場合の対応はどのや
うするか。

当局 令和2年度はコ
ロナ禍で実施できず、
町内で3日間の交流や
活動を行った。何らか
の取り組みができない
か検討を行う。

白鷹学講座

丸川委員 新型コロナ
感染症の5類への引き
下げにより申請が増加
した場合、対応はどの
うするか。

当局 令和4年度にお
いては年度途中に追加
の申請があり、補正予
算で対応した経過もあ
るので、審査会での協
議で調整を図ってまい
りたい。

文化財の活用

横山委員 文化財保護
対策事業において、文
化財の活用の検討は進
んでいるか。

当局 それぞれの保存
会において町内文化財
の維持・管理・保存を
行っている。活用につ
いても保存会で考えな
がら進めている。

消防費

地域防災マネージャー の役割

丸川委員 新設する地
域防災マネージャーに
最も期待している役割
は何か。

当局 自衛官として長
年培った防災などに関
する知識や経験などを
生かし、災害時の対策
本部の運営や平時にお
ける防災意識の普及へ
の取り組みに期待する。



深山和紙づくりの工程のひとつ
楮（こうぞ）ふかし



通常開催が待たれる
スポーツイベント

スポーツ大会の 通常開催

竹田委員 若駒マラソ
ン大会や町駅伝に関し
ては、コロナ禍前の通
常開催を目指すのか。

当局 コロナ禍前の通
常開催に向けて準備し
たい。関係機関や各地
区の方々と協議を重ね
て準備したい。

特別会計

下水道

地方公営企業法
適用に向けて

竹田委員 下水道事業の令和6年度からの地方公営企業法適用に向けて、令和5年度はどう取り組むのか。

当局 資産評価により資産額の決定を行い、それに基づき固定資産の管理システムの構築を行っていく。また官公庁会計から企業会計による予算編成となり、新たな財務諸表の作成も進めていく。

介護保険

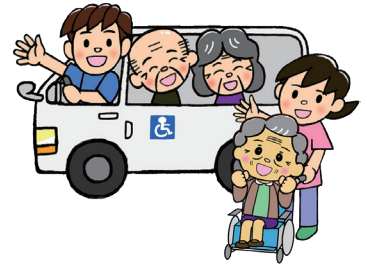
デイサービス統合の影響

竹田委員 白光園デイサービスとはぴーデイサービスが、昨年10月に統合になった。介護サービスに影響はないか。

当局 1日平均約40名であり、問題なく対応できている。フロアや風呂も快適になり、楽しく過ごされていると伺っている。

竹田委員 要介護、要支援の方々へのニーズに合わせて、迅速に的確に利用できるのか。

当局 町民のニーズに關しては、地域包括支援センターと介護保険係が連携し、的確なサービスにつなげていく。独居高齢者や高齢者のみ世帯の方々のニーズにも応えながら、サービス提供に努めていく。



公営企業会計

町立病院

人間ドック1日
コースの再開は

笹原委員 人間ドックの1日コースの再開はいつになるか。

当局 発熱外来を令和5年度も維持していく必要があるため、1日コースの実施は難しい。

令和5年度一般会計予算

賛成討論

新事業に期待

子育て政策では、相談機能の充実を図るため「伴走型相談支援」を行う。きめ細やかな取り組みを望む。

企業の人手不足と多様な働き方に対応するため、「地域人材ベースキャンプ」が設立される。前例のない事業だが、先進地域を参考に、効果ある取り組みになるよう期待する。

林業分野では、航空レーザ測量が実施される。森林資源の活用が進むことを評価する。

環境対策に關し、さまざまな計画が立てられるが、何より大事なことは町民が「自分ごと」として取り組めるかだ。

環境マイレージなどの取り組みに期待する。

若者定住の施策、町民の利便性へデジタル化の取り組みに期待し、賛成討論とする。



笹原 俊一 議員



反対討論はありませんでした。

補正予算の 主な質疑

フラワー長井線の経営支援

金田委員 沿線の市町と山形県の負担割合と金額はどうなるか。

企画政策課長 山形県と沿線の2市2町で総額3千万円を支援する。山形県は33・3%、そのほかの沿線市町は沿線の路線距離によって負担する割合を決め、

白鷹高等専修学校の経営支援

白鷹町は16%を負担する。

横山委員 今回の経営支援は、白鷹町以外の自治体も行うのか。

教育次長 学校からの要望を受け、緊急的な支援のため補助金の増額を行うもので、白鷹町のみが対応する。



23人が学ぶ白鷹高等専修学校

一般会計補正予算の主なもの

フラワー長井線対策費	480万円
原油価格などの高騰により影響を受ける山形鉄道の経営への支援	
白鷹高等専修学校補助金	237万円
原油価格などの高騰により影響を受ける同校の運営への支援	
財政調整基金費	8063万円
財政調整基金の元金などの積立	
担い手確保・経営強化支援事業	1200万円
意欲的な取り組みにより農業経営の発展を図る担い手が導入する農業機械に対する支援	
感染症対策等学校教育活動継続支援事業	496万円
感染症対策のための備品の整備などへの対応	
など	
◎財源は、地方交付税、国・県支出金、繰越金などで対応します。	

※万円未満は端数調整



表紙

●友だちいっぱい
つくろうね●

鮎貝小学校入学式

4月7日、町内すべての小学校で入学式が開かれました。

今年は桜の開花が早く、笑顔で登校する家族を満開の桜がお出迎え。

お兄さんお姉さんに見守られながら式典会場に入場する姿は、とても晴れやかなものでした。

真新しいランドセルを背負う子どもたち。その未来がさらに明るいものになるよう、皆で力を合わせたものです。





録画を配信

コミセン化の成果と課題は

町長 組織的な課題等について検討が必要



横山和浩 議員

地区コミュニティセンターへの移行

成果や課題は

問 移行による成果と課題は何か。

町長 平成27年度に公民館制度から移行した。社会教育法による制限がなくなり自由度の高い広範な事業が展開されたことは大きな成果である。しかし、地域課題の多様化が進み、地域づくり人材の確保や組織的な課題、推進体制について検討が必要時期が来ていると認識している。令和5年度は集落支援員を配置する予定である。

人材を育てる

問 地域課題や人材育成にどう取り組めばいいのか分からないという声もあるがどうか。

町長 研修や情報交換などが、円滑な事業運営につながると考えている。

問 研修以外にワークショップなどの体験も必要である。こうした活動を町全体で行ってはどうか。

町長 地域の皆さんが課題を把握し、解決に向けて取り組む中で、連携や結び付きが備わると思う。

処遇の改善

問 初任給を上げるといふ報道をよく見かける。コミュニティセンター職員の処遇改善をどう考えるか。

副町長 経営主体の判断で決められるが、給与は一定の水準にする申し合わせがあった。待遇改善の話があれば連携協議会の中で議論・協議したいが、地域の理解が必要である。

ペットの多頭飼育問題

未然防止

問 ペットが増え過ぎて飼育環境などが悪化する、いわゆる多頭飼育問題の未然防止に努める考えはどうか。

町長 町内における多頭飼育と思われる件数は6件、環境省のガイドラインを受け、町報やチラシ、ホームページで周知・啓発を実施している。

ボランティア支援

問 保護や譲渡を担うボランティアに過度な負担が及ばないよう、配慮・支援を検討すべきではないか。

町長 活動について、感謝を申し上げるしかない。経済的な支援までは踏み込めないが、その時々で対応は考えている。



私もひとこと

コミセン活動に若い人の意欲を生かしてほしい。

(町内70代)

経費補助

問 不妊・去勢手術への経費支援はどうか。

町長 県獣医師会の補助事業があり、町報で周知している。

独自の補助制度を設けている他自治体の状況も参考に、今後、支援の在り方を検討したい。

私もひとこと

ペットが増えすぎると、飼い主だけでなく周囲への影響も心配です。

(町内60代)

炊飯して食べるまでの体験学習を

教育長 食と農の親近感を得る絶好の機会であり 検討する



録画を配信

「食」とは

問 白鷹町としての「食」に対する基本的考え方を問う。

町長 我々が生きていくうえで欠くことのできない重要なものであり、生涯にわたって生き生きと暮らすための基本である。

とりわけ、本町の未来を築く子どもたちが、豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくうえでも重要な意味を持つと認識している。

体験学習

問 地元生産者が育てた「コメ」を子ども



金田 悟 議員

私もひとこと

お昼に学校中が炊きあがるお米の香りだけでいい体験してほしい。

（町内60代）

たちが炊飯して食べる取り組みをしてはどうか。

教育長 これまでにない新たな取り組みになる。

生産者が手塩にかけて育てた「コメ」を、その苦労や思いをお聞きしながら炊飯して食べることは、食と農の親近感、食文化について

て理解を深める絶好の機会であり検討させていただきたい。

問 学校における体験学習の方向性はどうか。

町長 体験学習を支えてくださっている地域の皆様に感謝しつつ継続していただきたいと考えている。

学校給食

問 学校給食の無償化を実施している自治体が、全国の約3割あるとの調査結果がある。白鷹町としてどう考えているか。

町長 我が町の給食費は決して高いものではないと認識している。無償化ではなく、今後

も今の単価を維持し取り組んでいきたい。

問 食物アレルギー対応をどうしているか。

教育次長 児童生徒の命に関わる重要なことであり、慎重な対応が

求められている。

また、医療機関の検査結果などに基づき、個別の対応を行っている。誤って混入することのないよう細心の注意を払っている。

問 イノシシの食害による被害状況と対策をどうしていくか。

農林課長 学校給食用の食材に予定していたジャガイモが出荷できなくなった。

対策として、「学校給食用農作物生産者鳥獣被害対策支援事業」により、対象となる農



体験学習

地に電気柵を貸与し、被害を防止する対策を講じていきたい。

問 野菜農家の急激な減少が想定されるが、認識はどうか。

農林課長 献立に合わせて農産物の生産をお願いすることへの対応が、将来的に難しくなってくる大きな課題と捉えている。

町長 大変重要な問題であり、農家の後継者をいかにして育てていくかを、地域の代表者の方々と連携し対応していきたい。

総務厚生常任委員会 3月9日

病院の経営強化と施設整備

第2期健康と福祉の里構想の推進について説明を受けた。

【概要】

の確保と働き方改革

保健・医療・福祉の一体的実施をさらに進めるため、町立病院の経営を安定化する経営強化プランの策定とサービス提供基盤（建物・設備）整備のための基本設計を進めている。

- 町立病院経営強化プラン策定について
- ・策定期間 令和4年度中
- ・対象期間 令和5年度～令和9年度
- ・内容
 - ①役割・機能の最適化と連携の強化
 - ②医師・看護師などの確保と働き方改革
 - ③経営形態の見直し
 - ④新興感染症の拡大などに備えた平時からの取り組み
 - ⑤施設・設備の最適化
 - ⑥経営の効率化など
 - サービス提供基盤整備について
 - ・既存建物の長寿命化対策
 - ・利用実態に合わせた機能や利便性向上に向けた改修などの検討
 - ・リハビリテーションや検診、健康相談などの一体的な実施
 - ・大規模災害を想定した施設スペース拡張の必要性

質疑

ホームページ、SNSの活用とは何か

委員 町立病院経営強化プランの中で、ホームページ、SNSの活用とあるが、具体的にどのようなことを考えているか。

当局 若い方にも興味と関心を持っていただくため、検診などの情報発信をしていきたい。また、医療相談なども医師、関係者と連携して検討していきたい。



さらに魅力ある高校へ

荒砥高等学校魅力化計画について説明を受けた。

【経過】

荒砥高等学校の存続に向けて、令和5年度以降も「荒砥高等学校魅力化に係る地域連携協議会」を中心とした取り組みを継続し、「荒砥高等学校魅力化計画（令和5年度～令和7年度）」として新たに策定する。

③地域スポーツクラブなどとの連携

【目標指標】

○令和5年度～令和7年度入学者 30名／年度

質疑

定員充足の要因は何か

委員 新年度の入学希望者が定員充足したのは、どういう取り組みや支援が要因であると分析しているか。

当局 小規模校の特色を生かし、一人一人の習熟度に合わせた取り組みがなされ、荒砥高校本来の良さが表れてきていること。また、町のさまざまな支援も好影響になったと思う。

生徒同士の交流は

委員 中学校との生徒同士の交流について、具体的な内容をどのように考えているか。

当局 具体的にはまだだが、連携協議会を今後も継続し、中学校と一緒に考えていきたい。



先輩がやさしくアドバイス

- 令和5年度重点プロジェクト
- ①白鷹中学校との交流研修
- ②学校説明の機会の充実
- ・オープンスクールの充実
- ・オープンスクールに参加することが難しい生徒などを対象とした学校説明会の開催
- ・必要に応じた学校見学会の実施

- その他の説明
- 鷹山地区拠点施設整備事業
- 第3次白鷹町環境基本計画（案）
- 第2次白鷹町エネルギー計画（案）

一步前進した施設整備

6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

質疑

意見交換

委員 コーディネーターを立てたり、意見交換なども進めたりということであったが、その後の動きはどうか。

当局 若手農家の方々を中心に話し合いを進めてきた。施設を活用し活動したいというご意見をいただいている。また法人からも活用したいというご意見をいただいている。コーディネーターは人選まで至っていない。

委員 若手農家との話し合いの中で、組織や会社を作るような話もあつたが、動きはどうか。

当局 数名で話し合いをしていると伺っている。具体的には今後深めていきたいとのことである。

て深めていきたい。

委員 若手農家との話し合いの中で、組織や会社を作るような話もあつたが、動きはどうか。

当局 数名で話し合いをしていると伺っている。具体的には今後深めていきたいとのことである。

委員 今後どう進めるのか。

当局 協議を続け、具体的な活用方法について



町産木材の利用拡大につながるか

「白鷹町の公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針」の一部改正について説明を受けた。

質疑

商品活用の推進

委員 家具、備品、調度品も地域産材の商品活用を推進すると思えていいか。

当局 なるべく町内、県内、国内の地元のものを使っていきたいとする考え方である。

委員 町内産の木材を使った家具や調度品は少ないが、商品化の取り組みも進めるのか。

当局 情報を集めながら検討していきたい。

ども園など、民間施設でも積極的に木材を利用していただいている町報などでピーアールしていきたい。脱炭素に関しても、木質チップを使ったボイラーを町内施設で使っており、今後もその流れを継続していきたい。



町産木材を利用した白光園

【改正趣旨】

現在の基本方針について、内容の改正と共に、町内の木材需要のさらなる拡大を図ることを目的とする。

【改正要点】

1 木材利用促進対象を「公共建築物」から「民間建築物を含めた建築物全体」に変更。

2 脱炭素社会の実現に向け、意義と説明を追加。

3 木造建築物の設計・施工・建築に携わる人材の育成を図る旨を追加。

今後の取り組み

委員 改正では、民間建築物も対象になり、脱炭素社会の実現も入った。今後の取り組みに変更点はあるか。

当局 白光園や愛真こ

その他の説明
○令和4年度空き家等に関するアンケート調査の結果についてなど

条例

- **白鷹町個人情報保護法施行条例**
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、法律から委任された事項などを定めるもの。
- **鷹山地区拠点施設の設置及び管理に関する条例**
鷹山地区拠点施設の設置に伴い、管理に関することなどを定めるもの。
- **白鷹町特別職の職員の給与に関する条例及び白鷹町消防団条例の一部を改正する条例**
消防団員の出勤報酬を新設するもの。
- **白鷹町国民健康保険条例の一部を改正する条例**
国民健康保険の方の出産育児一時金の支給額を50万円に引き上げるもの。
- **白鷹町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例**
公共下水道への接続により、浅立地区農業集落排水処理施設を廃止するもの。

ほか3件

指定管理

- 白鷹町ふるさと森林公園
 - 白鷹町森林総合利用施設
 - 白鷹町自然活用総合管理施設
 - ふるさと森林公園スカイサイクル
 - 白鷹町テレワークセンター
- 以上5件
指定管理者 株式会社大倉
指定期間 令和6年4月から10年間
(17ページに関連記事)
- **白鷹町子育て支援センター**
指定管理者 社会福祉法人
白鷹町社会福祉協議会
指定期間 令和5年4月から5年間

契約等

- **東根小学校長寿命化工事（プール等改修）請負契約の締結**
東根小学校長寿命化工事（プール等改修）を実施するため、契約を締結するもの。
契約金額 5665万円
契約の相手方 共栄建運株式会社
- ^{そりまち}**雪舟町新田揚水機場災害復旧工事請負契約の締結**
令和4年8月3日から4日にかけて発生した豪雨災害による被害を復旧するため、契約を締結するもの。
契約金額 5170万円
契約の相手方 産電工業株式会社
山形営業所

ほか3件

人事

- **白鷹町教育委員会委員の任命に同意**
迎田 浩昭 氏
(新規・荒砥甲)



- **白鷹町固定資産評価審査委員の選任に同意**
衣袋 幸治 氏 (新規・畔藤)
- **人権擁護委員の推薦に適任とする**
鈴木 和夫 氏 (継続・十王)
向田 美和子 氏 (継続・広野)
- **十王財産区管理会財産管理委員の選出**
渡邊 富次 氏 安達 光男 氏
梅津 一久 氏 千田 真 氏
奥山 守 氏

町道路線の廃止

- **町道太平橋線の廃止**
太平橋（大字大瀬）を取り壊したため必要がなくなり、廃止するもの。

ふるさと森林公園再整備特別委員会 2月21日・3月8日

指定管理者の候補者が決まる

白鷹町ふるさと森林公園に係る指定管理者の選考状況について説明を受けた。



老朽化への対応

白鷹町ふるさと森林公園パレス松風老朽度調査の結果について説明を受けた。

【外部審査会の審査結果】

申請書類の提出があった1者について、1月19日に外部審査会を開催し審査を行った。

①申請者

名称 株式会社大倉
所在地 大阪市
代表者 代表取締役 清瀧静男

②審査得点 493点

(審査基準値360点 600点満点)

③審査結果 指定管理者候補者と認める。

【指定管理者候補者の決定】

2月3日開催の指定管理者選定委員会において、「株式会社大倉」を候補者として選定。その後、選定委員会で

の結果を踏まえ、候補者として決定した。

質疑

従業員や納入業者は

委員 従業員や納入業者は残れるのか。

町長 指定管理として行うので、できるだけ購入物資や社員については同じような形になるようお願いはする。

委員 パレス松風という名前はどうか。

町長 指定管理が決定したら協議を進めたい。

減点要因

委員 外部審査会の審査結果について、減点要因は何か。

当局 25項目の評価項目があり、3段階で評価していた。優れているという項目が多かったが、結果としてこの点数になった。

委員 外部審査の中で、個別の意見はあったか。

当局 地域食材、雇用、財務状況、事業継続性、パレス松風の継承についてなどの意見があった。

財務状況

委員 指定管理者候補者の財務状況はどうか。

当局 令和3年度はホテル業の赤字などがあり、赤字を計上していた。令和4年度は黒字回復の見込みである。

アルカディア財団

委員 財団が指定管理を継続しなかったことについてお聞きしたい。

町長 黒字にできないという判断をされたもの。苦勞して経営してきたのだが、財団として決断していたものだものである。

保養センター

委員 保養センターは町民に還元していくことを考えれば大切な部分ではないか。

町長 町民の皆さんにどう還元していくか、経営の中で整理していかねばならない。

【調査内容】

建物本体や主要な機械・電気設備及び設備配管の老朽度及び危険度の現地調査。

【現況調査の結果】

建物全体的に経年劣化が顕著に発生しており、計画的な更新や修繕が必要な状況。

【調査結果への対応】

①新たな指定管理者の管理・運営面からの視点や今回の調査結果を踏まえ、優先順位や内容等を精査・検討し対応を図る。
②特に腐食劣化が著しい浴室内の露出している鉄骨梁については、応急的な対応を早急に行う。

質疑

町民への告知

委員 応急的な対応について、町民への告知はいつ行うのか。

当局 パレス松風に通知後対応したい。

今後のスケジュール

委員 今後のスケジュールは、どうなっているか。

当局 令和5年度に基本構想に入りたい。町民の意見を伺いながら進めたい。



総務厚生常任委員協議会 2月21日

地域防災マネージャー配置へ

地域防災体制の整備について説明を受けた。

【概要】

頻発化する災害に備え、防災対策の充実にを図るため体制整備を進める。

① 消防団員出動報酬の見直し

- ・災害時
出動時間により変動
(出勤1回につき)
2時間未満2千円
4時間未満4千円
4時間以上8千円
訓練時
・ 演習、操法大会などに参加したとき
(参加1回につき)
2千円

② 地区消防係の廃止とそれに伴う対応

- ・ 地区消防係の廃止
・ 各分団の副分団長を2名に増員

・ 分団交付金の増額

本部分団

20万円

各分団

10万円×5分団

③ 地域防災マネージャーの配置

災害発生時の対策本部の運営など、円滑な応急対応を行うための配置するもの。

質疑

消防係廃止の影響

委員 地区消防係の廃止により、役場との連絡などに支障は出ないか。

町長 地区消防係は白鷹町独自の形でやってきた。避難判断において時間のロスが大変な



災害になることもあり、応援を早くお願いする体制を作りたい。

そのために専門的知識をお持ちの「地域防災マネージャー」を設置して、町民の安全を守りたい。

- その他の説明
- 改正個人情報保護法の施行に向けた対応
 - 山形鉄道株式会社経営状況

全員協議会 2月21日

事業所経費に第2弾の支援

白鷹町原油価格等高騰対応支援給付金(第2弾)について説明を受けた。

【目的】

多くの事業所に共通する経費である電気料金などのかかり増し費用について第2弾の支援を行う。

【対象要件】

- ・ 町内に事業所を有する法人または個人事業主。
- ・ 8月1日現在で事業を営んでおり、申請後、継続して事業を営む意思があること。
- ・ 白鷹町運送事業者等支援給付金の給付を受けていないこと。
- ・ 町税の滞納がないこと。

【給付額】

・ 第1弾給付金受給者については、給付金

額200万円を上限とする範囲内で、第1弾給付金と同額とする。

・ 第1弾を受給していない事業者は、第1弾と同様に算定した額に2を乗じて得た額とする。

・ 新規創設者については、所要の調整規定を設ける。

質疑

料金項目について

委員 給付を受けるのに第1弾と同じ料金項目で申請するのか。

当局 第1弾で給付を受けている方には同額給付となるので、そのように理解している。



- その他の説明
- 感染症対策本部及び緊急経済対策本部の状況
 - 新型コロナウイルス接種状況
 - など

自治功労者表彰・広報コンクール表彰

令和5年2月13日、自治功労者表彰、県町村議会広報コンクール表彰が行われました。白鷹町議会からは6名が表彰されたほか、「議会だより しらたか」No.154が入選しました。

【自治功労者表彰】

全国町村議会議長会表彰	議員在職15年以上	菅原 隆男 議員
山形県町村議会議長会表彰	議員在職23年以上	今野 正明 議員
		遠藤 幸一 議員
	議員在職11年以上	小口 尚司 議員
		山田 仁 議員
置賜地方町村議会議長会	議員在職17年以上	関 千鶴子 議員



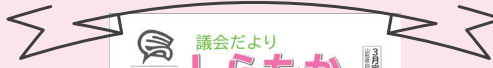
菅原 隆男 今野 正明 遠藤 幸一 小口 尚司 山田 仁 関 千鶴子

県町村議会広報コンクール表彰

「議会だよりしらたか」
No.154 入選



3年連続
受賞



審査員講評（抜粋）

- ・町民にわかりやすく伝えようとする編集側の意識が感じられる。
- ・町民のインタビュー企画がいい。
- ・主な事業の補足説明がほしい。



議会広報特別委員会委員

ご意見ありがとうございました。

= 議会だよりアンケートの結果 =

皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を参考に、今後も議会を身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。

◆回答数：30

◆性別：男10・女9・無回答11

◆年齢：10代～30代…0 40代…2 50代…1 60代…7
70代…11 80代以上…8 無回答…1

質問

* 毎月見ていただいていますか

- 1 見ている……………25
- 2 時々見ている……………5
- 3 見ていない……………0

* 見やすい・読みやすいと思う紙面は

(複数回答)

- 1 写真や色使いが良い……………14
- 2 見出しで内容がわかる……………12
- 3 文章がわかりやすい……………11
- 4 議会のことわかる……………14
- 5 その他……………1

* 見にくい・読みにくいと思う紙面は

(複数回答)

- 1 言葉が専門的……………10
- 2 色が多く目が疲れる……………6
- 3 文章が長い、わかりづらい……………8
- 4 内容が面白くない……………4
- 5 その他……………3
- もう少し要点を絞れそう
- 町民の声を載せる工夫が必要

ご意見から

・全て掲載できませんがご了承願います

* コンパクトにまとめ上げられていると思う。見やすく読みやすい。

* 議会だよりに徹してほしい。

* 輝く地域の力。若い人のいきいきとしている日常をもっと広めてほしい。

* カラー写真、カラー文字が多く、逆に読みにくい。もっと質素で白黒で十分。

* 内容がバラエティに富んでいて意外。表紙からして見てみようという気になったし、固いイメージはなく読みやすい。



編集後記

「冬は必ず春となる」とは先人の言葉であります。経験したことのない大雪に見舞われた年末。厳しい冬を覚悟しましたが、やはり暖かな春は確実にやってきました。

しかし世界では解決の糸口すら見えないウクライナ情勢。国内では予想をはるかに上回る少子化。厳しい冬も必ず春になることを信じるしかありません。

令和5年度は新事業が多く、前例のない取り組みも行われます。行政のデジタル化も進みますが、誰も取り残されることのない事業展開を望みます。このメンバーで議会だよりをお届けするのも今号が最後。お読みいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

広報特別委員長 笹原俊一

広報委員

- 委員長 笹原 俊一
- 副委員長・編集長 金田 悟
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 横山 和浩
- 印刷・(有)梅津印刷

